

糖尿病患者さんの 暖房器具使用について

気をつけよう！
暖房器具を使用するとき



糖尿病患者さんは、足先などの皮膚の感覚が鈍くなり、傷ができたりやけどなどになっても**痛みを感じにくくなる**ことがあります。また、一度傷ができてしまうと、なかなか**傷が治りにくい**という特徴もあります。

冬に使用するストーブや湯たんぽなどの**暖房器具が原因でやけどとなる可能性がある**ため、使用の際には注意していく必要があります。



- **暖房器具をつけたまま眠らない**ようにしましょう。
- 電気毛布やアンカを使う場合には、寝る前に布団を温めておき、**布団に入ったら電源を切る**ようにしましょう。
- 湯たんぽやこたつなどの熱源を、**直接肌に触れない**ようにしましょう。
- 足にやけどや傷がないか、**毎日観察**しましょう。



承認

12月1日～12月31日迄

管理責任者